

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

わかりやすい！IT 基礎入門 第4版 第1刷（電子書籍版含む）

No.	訂正箇所	誤	正																
1	P.232 図の右上	(2進数) 1001+0011 の加算結果 1110	(2進数) 1001+0011 の加算結果 1100																
2	P.269	流れ図 <table><thead><tr><th>順次</th><th>選択</th><th>繰返し (前判定)</th></tr></thead><tbody><tr><td> a ← 0 b ← 1 c ← 2 </td><td> k > 0 No Yes a ← 0 b ← 0 </td><td> ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1 </td></tr></tbody></table>	順次	選択	繰返し (前判定)	a ← 0 b ← 1 c ← 2	k > 0 No Yes a ← 0 b ← 0	ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1	流れ図 <table><thead><tr><th>順次</th><th>選択</th><th>繰返し (前判定)</th></tr></thead><tbody><tr><td> a ← 0 b ← 1 c ← 2 </td><td> k > 0 No Yes a ← 0 b ← 1 </td><td> ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1 </td></tr></tbody></table> ※選択内の「b ← 0」を「b ← 1」に変更しております。	順次	選択	繰返し (前判定)	a ← 0 b ← 1 c ← 2	k > 0 No Yes a ← 0 b ← 1	ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1				
順次	選択	繰返し (前判定)																	
a ← 0 b ← 1 c ← 2	k > 0 No Yes a ← 0 b ← 0	ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1																	
順次	選択	繰返し (前判定)																	
a ← 0 b ← 1 c ← 2	k > 0 No Yes a ← 0 b ← 1	ループ1 a < 0 k ← k × 2 a ← a - 1 ループ1																	
3	P.427	<table><thead><tr><th>機能</th><th>解説</th></tr></thead><tbody><tr><td>自己伝染機能</td><td>プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能</td></tr><tr><td>潜伏機能</td><td>発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能</td></tr><tr><td>発病機能</td><td>自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能</td></tr></tbody></table>	機能	解説	自己伝染機能	プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能	潜伏機能	発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能	発病機能	自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能	<table><thead><tr><th>機能</th><th>解説</th></tr></thead><tbody><tr><td>自己伝染機能</td><td>自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能</td></tr><tr><td>潜伏機能</td><td>発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能</td></tr><tr><td>発病機能</td><td>プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能</td></tr></tbody></table> ※「自己伝染機能」と「発病機能」の解説を入れ替えております。	機能	解説	自己伝染機能	自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能	潜伏機能	発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能	発病機能	プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能
機能	解説																		
自己伝染機能	プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能																		
潜伏機能	発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能																		
発病機能	自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能																		
機能	解説																		
自己伝染機能	自らの機能によって他のプログラムに自らをコピーし、またはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることによって、他のシステムに伝染する機能																		
潜伏機能	発病するための特定時刻、一定時間、処理回数などの条件を記憶させて、条件が満たされるまで症状を出さない機能																		
発病機能	プログラムやデータなどのファイルの破壊を行ったり、コンピュータに異常な動作をさせたりする機能																		